

4. 南区主催事業

(1) 校区青少年育成団体委員研修会

校区において、青少年の健全育成・非行防止活動を実践されている校区青少年育成団体の委員を対象として、研修会を実施しました。

本年度は、不登校の子どもに寄り添う保護者への支援について学びました。

日 時	令和元年8月22日(木) 19:00~21:00
会 場	南区保健福祉センター 講堂
内 容	講話 テーマ『不登校の子どもに寄り添う親の支援について』
講 師	講師：杉浦 しのぶ 氏 不登校保護者支援・えがおの会 代表
参加者	校区青少年育成団体の委員 44名

◆杉浦 しのぶ氏

聴かせてください、あなたの声を ～保護者支援「Omimi」活動を通して～

様々な課題を持ったご家庭（不登校・行き渋り・発達障がい等）を中心に子育ての悩みを聞き、気持ちに寄り添う居場所「Omimiかふえ」などを開催し、子育て中の保護者の孤立化を防ぎ、悩みを吐き出すことで心が軽くなり、笑顔を取り戻すことができる傾聴の場を提供している。また、親自身が自分の捉え方の癖が分かることで、子どもへの対応が変わり、親子で将来への第一歩が踏み出せるようになることを目指しています。

◆アンコンシャスバイアスとは

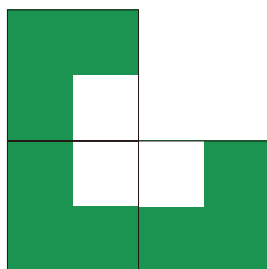
「差別しない」「偏見しない」と人は言うけれど、無意識の差別や偏見、また思い込みは、小さい頃からの育った環境によってしみついているものがあります。大人が少し意識して子どもたちと接することで変わっていくものです。

◆思い込みのワーク

みなさんも考えて
みてください！
答えは次ページで！

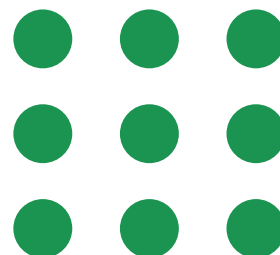
●気づきのワーク1

下図のピザを4等分に分けま
しょう

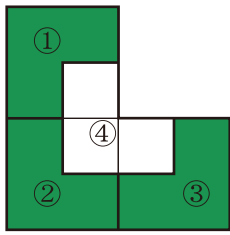


●気づきのワーク2

全ての団子を一筆書きで3本
の直線をつなぎましょう

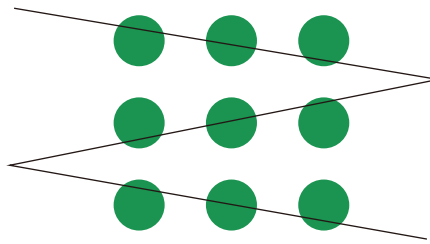


●気づきのワーク 1



白い部分が具材と
思い込み具材を4
等分しないとけ
ないと思ってい
ます… 緑と白
に分かれてもOK
です！

●気づきのワーク 2



団子の真ん中を通
さなくても良いの
です。思い込みを
なくすと問題が解
決することもあり
ます。

◆あなたはあなたのままでいいんだよ！

楽しい・嬉しいという感情は大切です。自尊感情はなかなか育ちにくく、人から褒められることで育ちます。家族や周りの人へ自分自身のえらいと思う事を伝えて、「えらい！えらい！」と言ってもらいましょう。聞き手は“それは当たり前”と捉えず、当たり前がえらいことだということを知りましょう。



◆受け止める

何でも「受け入れる」ことは難しくても、「受け止める」ことはできます。つい反論や事実を伝えてしまいがちですが、まず子どもの気持ちを「受け止めて」あげることで、安全安心な居場所ができ、心を開いて前進できます。

◆参加者の感想

- ・自分の無意識の偏見や思い込みの多さに気づかされ、母親の役割の重要さを感じました。
- ・「えらいえらい」のワークを家族とやってみようと思いました。
- ・ものの見方や考え方を見直すきっかけになり、本当に十人十色と感じました。
- ・「受け入れよう」とするから難しいのであって、「受け止める」ことを意識したいです。
- ・思い込みワークを地域の研修にも取り入れて、他の委員や子どもたちの「気づき」のきっかけ作りをしたいと思います。
- ・我が子の受験に悩んでいましたが、全てが参考になり、私にとっても娘にとっても、今後の人生の宝になりました。

(2) 強調月間

本市では、7月を「福岡市青少年の非行・被害防止強調月間」、11月を「福岡市子ども・若者育成支援強調月間」と定め、国の運動と一体となって、より多くの市民の方が、青少年の非行防止、子ども・若者の育成支援に関心・理解を深めていただくよう、取り組みを推進しています。